

「ポストコロナ時代に挑むスタートアップ特集」 ＜IT編＞

KEYNOTE講演者 ▶ ポストコロナ時代、AI、テクノロジーをどう活かすべきか



北海道大学教授 札幌AIラボ長 川村 秀憲氏

【略歴】

2000年3月北海道大学大学院工学研究科システム情報工学専攻
博士後期課程期間短縮修了。
同年4月同大学助手。2006年同大学准教授、2016年同大学教授となり現在に至る。

1999年～2000年、日本学術振興会DC特別研究員。
2007年～2008年、日本学術振興会海外特別研究員、ミシガン大学客員研究員。
人工知能、マルチエージェントシステム、複雑系工学、観光情報学の研究に従事、
人工知能やマルチエージェントに関する発表論文多数。情報処理学会、人工知能学会、
日本オペレーションズ・リサーチ学会、観光情報学会などの会員。
観光情報学会理事。株式会社調和技研取締役。人工知能学会編集委員会委員。

ピッチ登壇企業

AWL（株）

取締役CTO（弁理士）：土田 安紘氏

AIを通じて実現する“安心・安全”のカタチ

18カ国から集まる多国籍なメンバーが集結し、社会の課題解決、価値向上を実現するためのAIカメラソリューションの開発、提供を行うAWLの先進の取り組みをご紹介します。

（株）AmbiRise

代表取締役CEO：田中 寛純氏

歩みの遅れがちな行政DXをビジネスサイドから推進

～請求プラットフォーム「Haratte」の提供による、行政あて請求DX推進の取り組み～

With/Afterコロナ時代には、最遅と言われる行政DXも待った無しの状況。しかし、そうは言っても時間がかかるのが行政。そこで、代表が元市職員の弊社が進める、ビジネスサイドから行政あて請求DXを早期に実現するプラットフォームの取り組みについて紹介します。

エコモット（株）

製品開発部：薄木 達哉氏

コロナ禍で夏を満喫するためのIoTテクノロジー

今年の夏はコロナウイルスの影響により、ビアガーデンやお祭りといった多くの屋外イベントが中止となり、引き続き外食も控えている人が多く存在します。世の中の不安や不満が積もっていく中、コロナ禍でも安心して夏を満喫してもらうために、当社が培ってきたIoTテクノロジーで街の3密対策をサポートします。